特集

犯罪被害に遭わないために

問合せ　自治振興課（内線３１１５）

犯罪は、昼夜を問わず、全国各地で発生しています。もしかすると、まさに今、犯人はあなたのわずかな隙を狙って、犯罪行為をしようと企んでいるかもしれません。犯罪と一括りにいっても、強盗や侵入窃盗、特殊詐欺など、さまざまな手口があり、その手口は日々巧妙になっています。もう一度、防犯対策について考えてみませんか。

鴻巣市の犯罪発生状況

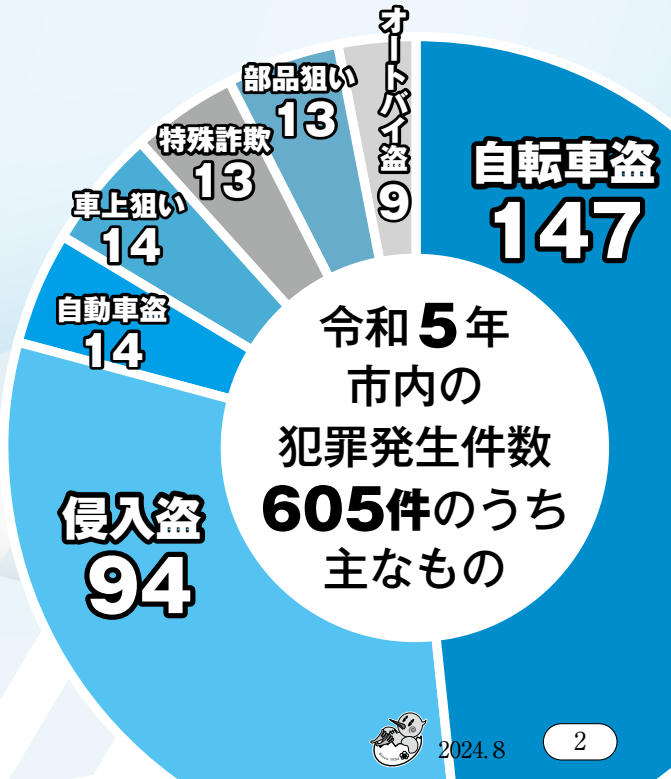
皆さんは、鴻巣市内で1日どれくらい犯罪が発生しているかご存知ですか。令和5年中に市内で発生した犯罪は、令和4年から133件増加して605件でした。1週間に約11件の犯罪が発生していたことになります。特に令和4年から増加したのが、自転車盗と侵入盗。自転車盗は約1.6倍、侵入盗に至っては約2.1倍の発生件数となっています。また、オレオレ詐欺などの特殊詐欺の被害額は、令和4年と令和5年を比較すると、約1，870万円も増加しており、大きな被害が発生しました。

今年に入ってからも、5月末までに前年同月比67件増加して282件の犯罪が発生し、侵入盗・自転車盗・万引きが高い件数となっています。

防犯への意識を高めましょう

「自分が犯罪に遭うわけがない」心のどこかでそう思っていませんか。犯人はあなたのそういった心の隙を狙っています。

市内で起こる犯罪には、日々の生活の中での小さな習慣で防げるものもあります。「あの時きちんと鍵をかけておけば」「防犯対策をしておけば」と後悔しないために、**侵入窃盗対策、子どもや高齢者を狙った犯罪**などについて再確認しましょう。



令和5年 刑法犯認知件数（犯罪率の低い順）

順位	市	人口	犯罪率（人口千対）	認知件数
1	白岡市	52,517	4.6	241
2	秩父市	57,236	4.7	271
3	狭山市	147,805	4.9	724
4	北本市	64,751	5.1	332
5	鶴ヶ島市	70,329	5.1	361
6	志木市	75,349	5.2	389
7	**鴻巣市**	116,466	5.2	605
8	新座市	165,405	5.5	915
9	朝霞市	142,379	5.6	791
10	日高市	53,734	5.6	301

出典：埼玉県警本部資料
※人口は埼玉県推計人口（月報データ）令和５年４月１日時点

人口千人当たりの刑法犯認知件数 埼玉県ランキング	鴻巣市内の刑法犯認知件数	埼玉県の刑法犯認知件数
7位／40市	605件	49,653件
令和4年 3位 ↓4位ダウン	令和4年 472件 ↑133件増	令和4年 41,983件 ↑7,670件増

特集 犯罪被害に遭わないために

自分たちのまちは 自分たちで守る

皆さんは、「防犯パトロールグループ」を知っていますか？

防犯パトロールグループは、5人以上の仲間やご近所などで結成され、日常生活の中で防犯意識をもって地域の見守りを行っている団体です。防犯と書かれた緑色のベストが目印で、ボランティアで地域の安全を守っています。

どのような思いで防犯パトロール活動を実施しているのか、「中宿自治会自主防犯パトロール隊」代表の下村正司さんにお話を伺いました。

中宿自治会
自主防犯パトロール隊
代表 下村 正司さん

地域を守る

子どもの安全を願う防犯パトロール

10年以上防犯パトロール活動を続けている下村さん。箕田地域を活動拠点とする中宿自治会自主防犯パトロール隊の代表を務めています。

「10人のメンバーが交代制で活動をしています。主な活動は子どもたちの登下校時の見守りです。子どもたちが元気に挨拶してくれることがやりがいです」と笑顔で語ります。

「子どもは地域の宝なので、犯罪や事故に巻き込まれないよう見守りたい、と思ったことがパトロール活動を始めたきっかけです。子どもたちの安全のため、市内の不審者情報などのチェックは欠かせません。何か情報があれば、携帯に通知が来るようになっています」

こうした活動は、保護者の皆さんから安心できると、感謝の言葉をいただいているそうです。

日々の活動が犯罪抑止に

「登下校の見守りが終わったら次は地域の巡回です。不審者や困っている人がいないかを見て歩きます。日々のパトロール以外にも、警察からのお知らせを地域の掲示板などに掲示して、住人の防犯意識の啓発にも取り組んでいます」

これまでこの地域で大きな事件はなかったと言います。日々の活動の積み重ねが、犯罪を抑止し、地域の安全を守っているのです。

地域の皆さんで声掛けを

「最近はご近所付き合いが希薄になってきていると感じます。地域の繋がりが強くなれば、その地域に怪しい人は、まず入り込めません。困っている人がいたら、積極的に声掛けをして、地域の繋がりを強くして欲しいです」

安全・安心な地域づくりには、ご近所同士の声の掛け合いが大事であると、力強く語ってくれました。

▲中宿自治会自主防犯パトロール隊の皆さん

保護者の声

天候に関わらず、いつも朝早くから子どもたちに声を掛け見守っていただき感謝しています。子どもたちはパトロールの皆さんがいることで安心して登校できています。

（小学４・５年生の保護者）

防犯パトロールグループを結成しませんか？

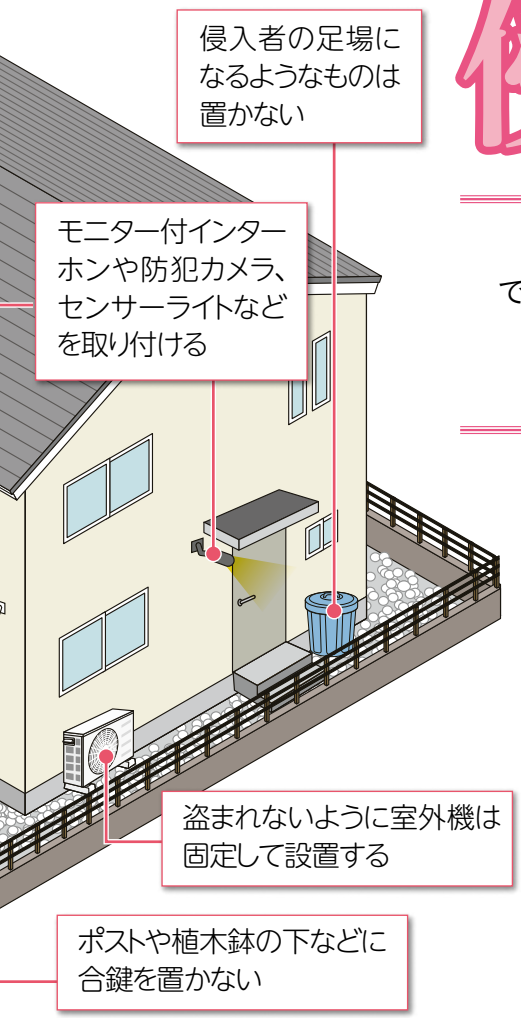
防犯パトロールグループに登録いただくと、活動に必要な防犯ベストや誘導棒などの用品を支給します。また、今年度からは、懐中電灯・のぼり旗・旗竿を支給用品に追加しました。パトロール用品をご希望の方は、自治振興課の窓口までお越しください。

いつもの運動が防犯活動に！「防犯サポーター」を募集

ランニング・ウォーキングなどの運動習慣のある方に、運動しながら防犯活動をしていただく取り組みです。自主防犯団体への加入や、地域の防犯パトロール活動とは異なり、自分の好きな時間に、気軽にできる防犯活動です。詳細は、二次元コードから県HPをご覧ください。

侵入窃盗対策

コロナ禍が収束し、外出や旅行などで家を空ける時間が増えたことで、留守中を狙った侵入窃盗被害が多く発生しています。
被害に遭わないためには、どのような対策が必要なのでしょうか。
侵入窃盗の手口や対策について、警察の方にお話を伺いました。



今年5月までの市内刑法犯認知件数は、昨年同時期よりも約31％増加しており、侵入窃盗も高い水準となっています。

侵入窃盗の手口には、家人が留守中の「空き巣」のほかに、「忍込み」「居空き」といった在宅時の就寝中や食事中を狙った手口もあり、どのような時でも油断できません。

侵入手口で1番多いのが、鍵を閉めていない「無締り」で、約46％を占めています。とにかく鍵をかけることが肝心です。面倒でもゴミ出しの5分間も必ず鍵をかけましょう。

また、侵入経路で気を付けてほしいのが、風呂場の窓です。格子がついているから安心と、換気のために夜開けたままにしていませんか。格子の種類によっては簡単に取り外せてしまうため、鍵がかかっていないと、そこから侵入されてしまう場合があります。

侵入手口で次に多いのが「ガラス破り」です。この対策には、不在にする際に雨戸を閉めることをおすすめします。雨戸がない場合は、窓に補助錠や防犯フィルムを取り付けると良いでしょう。ここでのポイントは、侵入に時間をかけさせ、侵入者に諦めさせるということです。

侵入者は、夕暮れ時に電気が点いていなかったり、家の周囲に草木が生い茂っていたりしていて、防犯対策ができていない家を探しています。被害に遭わないためには、

鴻巣警察署生活安全課長　安原 健二さん

◆◇ 最新の犯罪情報を発信 ◇◆

鴻巣市

市内で起きた犯罪情報

市HPで鴻巣警察署管内の犯罪発生状況を掲載し、随時更新しています。自分の住む地域の犯罪状況を知り、防犯意識を高めましょう。

埼玉県警察

5つの犯罪・防犯情報ツール

埼玉県警察では、メールマガジン・X(旧Twitter)・Facebook・Yahoo! 防災速報・Instagramの5つの情報ツールを活用して、県内で発生している子供や女性を狙った不審者出没情報や重要凶悪事件などの情報をタイムリーにお届けしています。

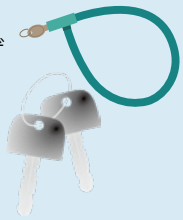
自転車盗の対策

市内で自転車の盗難が多発

被害の約60%が
鍵をかけていない自転車

被害に遭う前に対策を

- 自転車を離れる際には、必ず鍵をかける
- U字ロックやワイヤーロックなどで、ツーロックを心がける
- 自転車を購入した際には、必ず「自転車防犯登録」を行う
- 自宅で駐車する際には、見えにくい場所にする
- 自宅でも鍵をかける



点検商法に注意

点検商法とは、無料で点検するなどと言って家を訪問し、不必要または法外な価格のリフォーム工事や商品交換・駆除作業等の契約を取る商法です。

突然の訪問を受けたその場では、**「点検させない」「契約しない」**ように気を付けましょう。

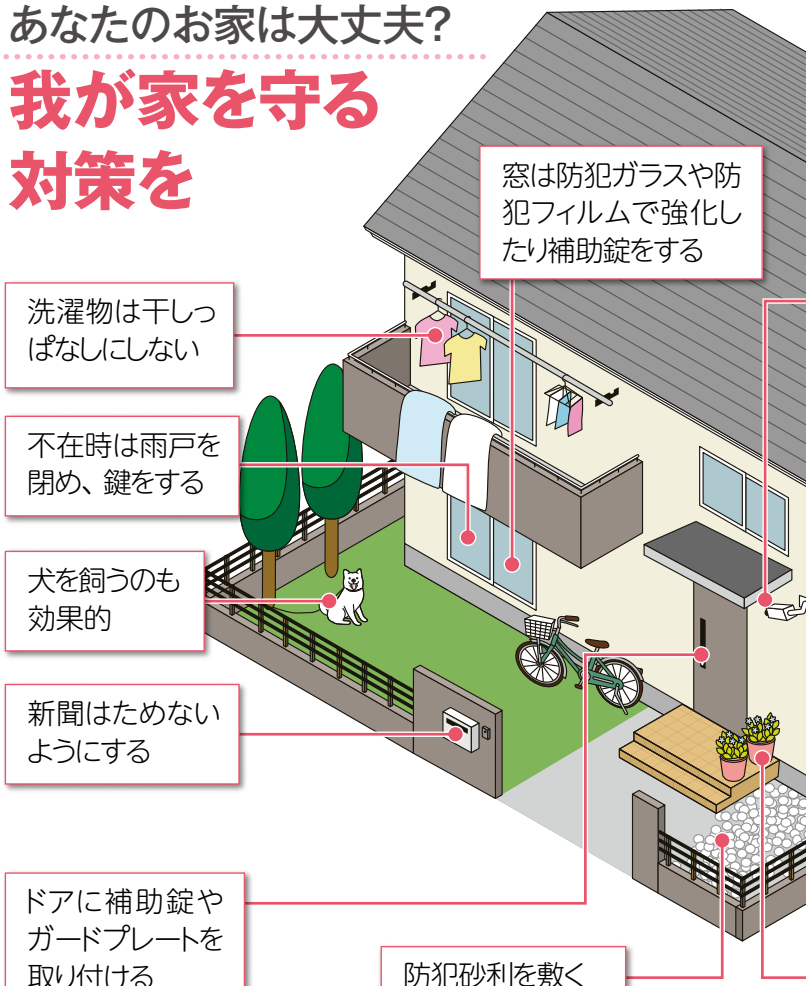
困ったときや不安なときは、警察や鴻巣市消費生活センターに相談しましょう。

❖この言葉に要注意

「屋根に不具合がありますよ」
「無料で点検します」
「今すぐ修理しないと大変です」

鴻巣市消費生活センター（市役所本庁舎4階）
電話番号：541−1321
相談時間：月～金(祝日・年末年始除く)
10時～12時、13時～15時30分

あなたのお家は大丈夫?
我が家を守る対策を



「入りにくい」と思わせる日頃の防犯対策を心がけてください。

例えば、夜遅くまで家を空けるときは、留守だと思わせないために、2階の電気を点けっぱなしにすることも有効です。

また、侵入者は声をかけられることを嫌がります。ご近所同士で日頃から挨拶を交わすなど、侵入者に狙われない地域づくりをすることも大切です。

鍵をかける手間を惜しまないこと、雨戸を閉めたり、窓の二重ロックをするなど、まずは簡単にできるところから対策してみましょう。

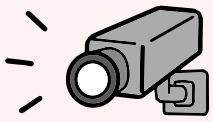
住宅の防犯対策に補助金を交付

補助対象 令和5年7月1日から令和6年12月31日の間に市内の販売店で購入・設置をした防犯対策（市内の1つの住宅等につき1回のみ）
防犯対策の例：「防犯カメラ」「人感センサーライト」「センサーアラーム」「詐欺防止電話機器」「防犯砂利」の設置、「防犯フィルム」「モニター付きインターホン」「防犯性の高い錠・補助錠」の取付など

申請期間 令和7年1月31日まで　※予算の上限に達した場合は申請期間中でも終了

補助金額 実支出額の2分の1
※上限10,000円、1,000円未満の端数がある場合は切捨て

申請方法 鴻巣市HPから電子申請または申請書類を自治振興課に提出
※詳細は右の二次元コードから市HPをご覧ください

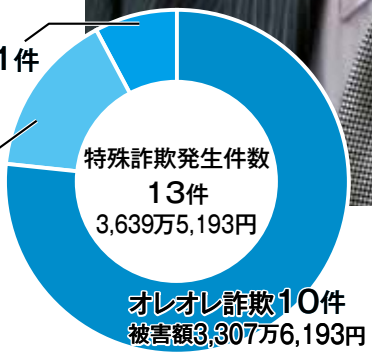


特殊詐欺

特殊詐欺とは、多くの場合、犯人が電話やメール等で、親族や公共機関の職員等を名乗って被害者を信じ込ませ、現金をだまし取ったり、ＡＴＭを操作させ、犯人の口座に送金させる犯罪で、**被害者の87．1％が65歳以上の方です**（令和５年埼玉県：埼玉県警察ＨＰより）。

者を狙った犯罪

令和５年中の市内の被害件数・被害額を見ると、**オレオレ詐欺の被害がほとんどを占めています。**オレオレ詐欺は、家族や親族になりすまして、お金をだまし取る詐欺です。特に注意しましょう。



令和５年
市内の特殊詐欺発生件数

特殊詐欺の主な種類

オレオレ詐欺

親族等を名乗り、「カバンを置き忘れた」「小切手が入っていた」「お金が必要だ」などと言って、現金をだまし取る詐欺

預貯金詐欺

警察官、銀行職員等を名乗り、「あなたの口座が犯罪に利用されている。キャッシュカードの交換手続きが必要」などと言って、暗証番号を聞き出しキャッシュカード等をだまし取る詐欺

架空請求詐欺

有料サイト等について、「未払いの料金を今日中に払わなければ裁判になる」などとメールやSNSで脅し、それを口実に金銭等をだまし取る詐欺

還付金詐欺

自治体職員等を名乗り、医療費・税金・保険料等について、「還付金があるので手続きしてください」などと言って、被害者にATMを操作させ、被害者の口座から犯人の口座に送金させる詐欺

だまされないために

「自分はだまされない」「うちの親は大丈夫だ」そう思ってはいませんか？あなたのそうした些細な隙を犯人は狙っています。詐欺の被害に遭わないため、以下の対策や意識をもちましょう。

- 留守番電話設定にする
- 通話録音機能のある電話機を使用する
- おかしいなと感じたら、すぐに警察・家族に相談する
- 市役所や警察、金融機関などの職員が、お金を振り込ませることは絶対にありません
- 普段から家族や身近な人と連絡を取り合う

公的機関の名前を出されても、信用しないようにしましょう。

鴻巣警察署
生活安全課係長
白根 正之さん

特殊詐欺被害に遭った多くの方は、「自分が被害に遭うと思わなかった」と口を揃えます。自分が被害者になるかもしれないと、意識を変えてもらいたいです。

特殊詐欺には、さまざまな手口がありますが、共通するのが、**一本の電話からはじまる**ということです。被害に遭わないため、皆さんに徹底してほしいことは、**日中の固定電話にかかってきた知らない番号からの電話には出ない**ということです。これだけで特殊詐欺被害に遭う可能性は限りなく低くなります。

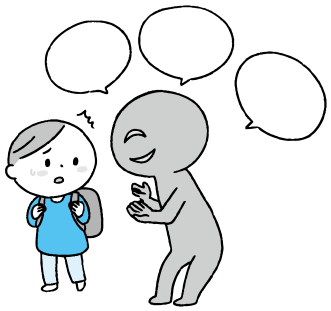
また、周囲の方が特殊詐欺に遭っている人に気づき、未然に被害を防ぐケースもあります。電話をしながらＡＴＭ操作をしているなど、気になる人がいたら声掛けや１１０番通報をしていただき、被害の防止にご協力をお願いします。

特集 犯罪被害に遭わないために

誘拐・不審者

子どもや高齢

子どもを狙った犯罪 どんな事件が起きている？



いつ？

- 学校からの帰宅時間帯
- 学童保育からの帰宅や塾・習い事への行き帰り
- クラブ活動などで、他の児童・生徒よりも朝早い時間帯の通学時
- 休日に子どもだけで外出しているとき

どこで？

- 道路
- 駐車場・駐輪場
- 公園
- マンションやアパートなどの共用玄関や廊下、階段、エレベーター

どんなことが？

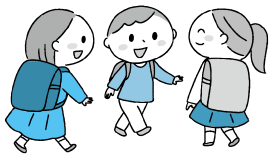
- 体を触られる
- 声をかけられてどこかに連れ去られる
- 嫌なことを言われたり、つきまとわれたりする

夏場は子どもが自由に過ごせる時間が長く、行動範囲も広くなり、特に注意が必要な期間です。子どもの防犯で最も大切なことは「犯罪被害は『**子どもだけになる瞬間**』に起きる」という意識です。もう一度、ご家族で防犯に対して話し合う機会を作りましょう。

お子さんと確認しましょう 事件に巻き込まれないための4つの約束

1 ひとりにならない

ひとりで歩いていると狙われやすいため、誰かと一緒にいるようにしよう



2 知らない人についていかない

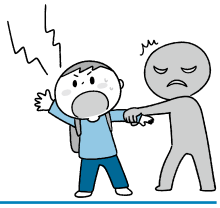
知らない人の車には絶対に乗らない。たとえ知っている人だとしても、家族に確認できないときは断りましょう

3 出かけるときは家族に伝える

だれとどこで何時まで遊ぶか家族に話そう。家族がいないときは手紙を書くなど、ルールを決めておこう

4 大きな声で助けを呼ぶ

怖いとき、助けてほしいときは、大きな声で「たすけて」と叫ぼう



もしものときに備えて

- 防犯ブザーやホイッスルは、家で鳴らす練習をしておこう
- 学校での出来事や友達のことなどを家族といつも話しておこう
- もし被害にあったら、すぐに家族や近くにいる大人に知らせ、110番通報をしよう

安全・安心なまちづくりにご協力ください

鴻巣市では、「安全・安心に暮らせるまち」を目指し、防犯灯・防犯カメラの設置や青色回転灯パトロールの実施による防犯対策のほか、防犯講習会等を開催することで防犯意識の向上を図っています。しかし、犯罪者は巧みな手口を用いて、わずかな隙を狙い、私たちの生活を脅かしているのです。

犯罪に強い「安全・安心なまち」を作るためには、一人ひとりが「自分も犯罪に遭うかもしれない」という危機意識を持つことや、「被害に遭わないために自分に今何ができるのか」という防犯意識を持つことが大切です。市内で起こる犯罪の中には、日々の生活の中での小さな習慣で防げるものもあります。まずは、自分の身近な場所から防犯対策を行いましょう。